



「3D Creative Arts Awards」受賞！ “日テレG+ LIVE IN 3D 巨人vs広島”



世界の優れた3D作品を表彰する、国際3D協会「3D Creative Arts Awards 2012」の授賞式が2月1日（水）にアメリカ・ビバリーヒルズホテル（ロサンゼルス）で行われ、日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 大久保好男、以下日本テレビ）製作のスポーツ中継コンテンツ「日テレ G+ LIVE IN 3D 巨人 vs 広島」が、日本で初めてとなる「Special Jury Awards（特別審査委員賞）」を受賞しました。

「3D Creative Arts Awards 2012」Special Jury Awards（特別審査委員賞）

作品名：日テレ G+ LIVE IN 3D 「巨人 vs 広島」（スポーツ局制作）

放送日：2010年9月12日（日）

巨人戦中継史上初の3D生中継を実現。3Dならではの臨場感を演出するカメラワーク、カメラ配置、奥行き感のあるCGテロップの工夫等や、3D中継専門での実況・解説を行うことで、3D映像および野球中継の魅力を余すことなく伝えることに成功しました。



なお、「3D Creative Arts Awards」は2010年に新設された賞で、世界中の映画・劇場・イベント・放送等で発表された3Dの映像コンテンツが様々な観点で審査され、特に優れた作品が表彰されています。今年も世界から250作品以上がノミネートされ、過去には、「アバター（2010）」、「トロン：レガシー（2011）」などハリウッド映画の3D作品も受賞している権威ある賞です。今回の「日テレG+ LIVE IN 3D 巨人 vs 広島」は「カメラ位置など、野球の新しい魅力を表現する上で秀逸」なこと等が評価されての受賞となりました。

日本テレビは、この受賞を励みとして、これからも皆さんに支持されるコンテンツ製作を続けてまいります。